

## 第一章

# 地震発生後の記録

写真で見る被害状況  
七ヶ浜町の概要  
津波の襲来と町の対応



第一章 地震発生後の記録

# 写真で見る被害状況





葛蒲田海水浴場付近



汐見台南2丁目町営住宅付近



汐見台南2丁目町営住宅付近





葛蒲田浜長砂地内



葛蒲田浜長砂地内



花洲浜長須賀地内

葛蒲田浜牛ノ鼻木地内



葛蒲田浜牛ノ鼻木地内



葛蒲田浜牛ノ鼻木地内



葛蒲田浜牛ノ鼻木地内



上空から見た葛蒲田浜宅地・牛ノ鼻木地内



葛蒲田浜牛ノ鼻木地内



葛蒲田浜牛ノ鼻木地内



葛蒲田浜長砂牛ノ鼻木地内



# 津波襲来

菖蒲田浜長砂付近

津波到達 2分



津波到達 12分



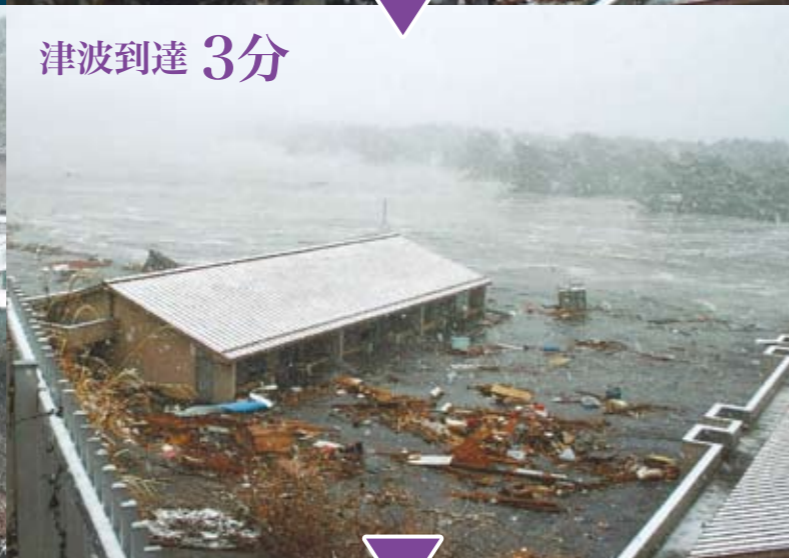
津波到達 25分



津波到達 0分



津波到達 3分



津波到達 16分



津波到達 26分



津波到達 0分



津波到達 6分



津波到達 17分



津波到達 57分



津波到達 1分



津波到達 7分



津波到達 23分



津波到達 60分



松ヶ浜漁港



松ヶ浜漁港



吉田浜屋敷敷地内



吉田浜屋敷敷地内









遠山三丁目



花瀬浜上ノ山内地内



花瀬浜館下地内



吉田浜屋敷地内



汐見台一丁目



汐見台一丁目



松ヶ浜上納地内



吉田浜神明地内



代ヶ崎浜西地内



代ヶ崎浜港

花洲浜館下地内



吉田花洲港



葛蒲田海岸



花洲浜後田地内



葛蒲田浜宅地地内



上空から見た花洲浜割山周辺



葛蒲田浜東原地内



花洲浜市場



花洲浜上山地内



松ヶ浜浜屋敷地内



葛蒲田浜石畑地内



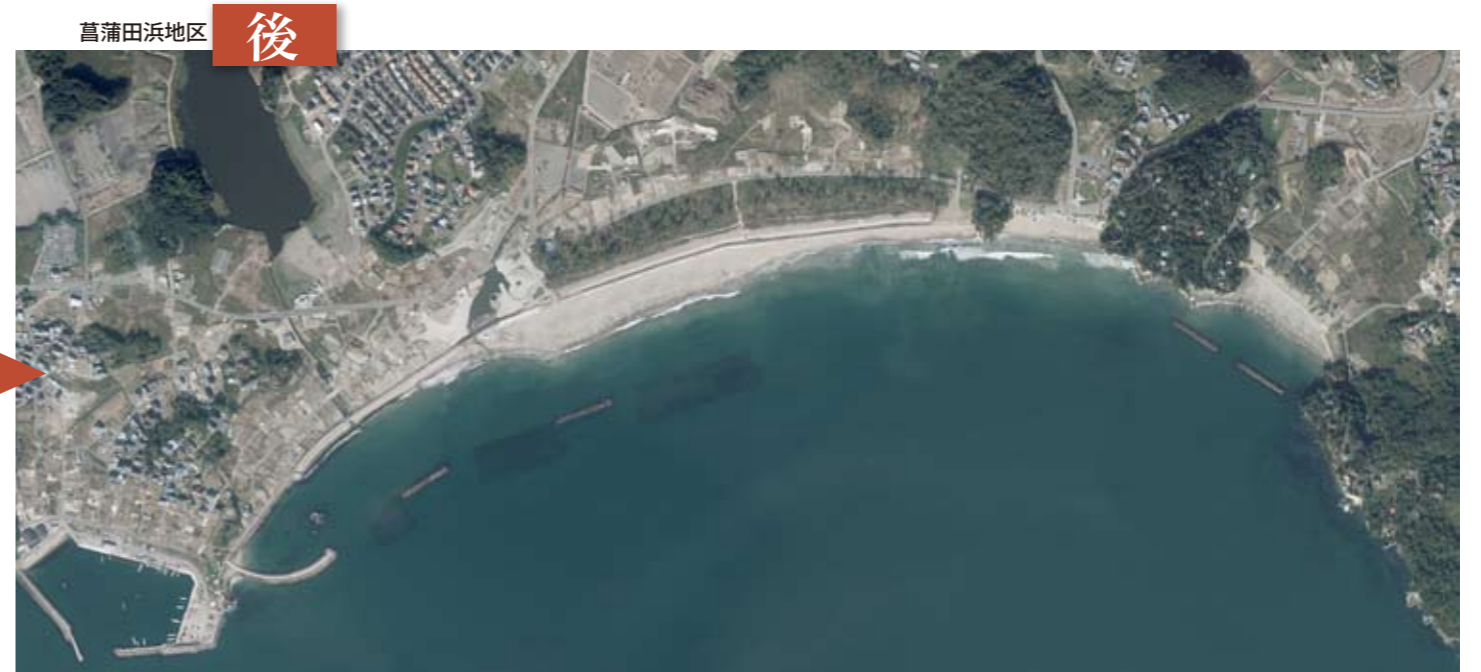
東日本大震災 **前**



東日本大震災 **後**



# 東日本大震災 前後



## 第一章 地震発生後の記録

## 七ヶ浜町の概要

宮城県の地図を広げて見ると、七ヶ浜町は、まるで小さな半島のように海に突き出した大地であることが分かる。

北に松島湾、東と南に仙台湾が広がり、西は貞山堀を隔てて多賀城市と塩竈市に接する。半島状ではあるが、半島としての名称はない。ただ、海洋に面する東、南、北の沿岸に七つの浜があり、藩政時代ころから、この独立的なエリアはいつしか「七ヶ浜」と呼ばれるようになった。

目の前には大海原が広がっている。古くから人々は舟で漕ぎ出し、網を打ち、<sup>もり</sup>銚を突いて魚を捕らえてきた。松島湾岸に貝塚遺跡が多いのは、海における魚介類の豊富さと、人々が古くから海を生活の場としてきたことの<sup>あか</sup>証しともいえる。

時代は移り変わり、漁や採取は「水産業」となり、技術も道具も進化して、海辺の暮らしもまた大きく様変わりしていく。しかし、七ヶ浜の人々は、いつも海のそばに暮らし、海との関わりの中に生きてきた。これだけは、昔も今も変わらない。

明るく青い世界の開放感と爽快感、寄せる波音のやさしさ、夏の夕べの風の心地よさ、そして四季それぞれの豊かな恵み。海辺に生きる喜び、楽しみは数多い。

しかし、海は、ときに巨大な猛威の爪を、私たちにに向けて来ることもある。

宮城沖の海はまた、世界でもまれな地震の発生域でもある岩手から宮城にかけてのいわゆる三陸地方の浦々は、巨大地震に伴って発生する、まるで海そのものが襲ってくるかのような大津波にしばしば悩まされ、海辺の暮らしの風景は、そのたびに大きく傷つけられてきた。

2011年(平成23年)3月11日午後2時46分に発生した、観測史上最大となるマグニチュード9.0もの「東北地方太平洋沖地震」は、巨大津波を引き起こし、海辺の風景を激しく変えてしまった。

この日、七ヶ浜町で観測された震度は5強。地震発生から65分後、次々に津波が七ヶ浜町に到達、町面積の36.4%にも相当する4.8km<sup>2</sup>もの町域を、<sup>また</sup>瞬間に飲み込んでいった。

海辺の暮らしにとって最大の<sup>きょうい</sup>脅威は、津波の襲来である。三陸地方の海辺は、大小の湾がいくつも連なるリアス式海岸で、押し寄せる津波が港湾の奥で高さを増しやすい。

記録に残る三陸最古の津波は、平安時代前期の貞観11年(869)に発生した「貞観地震(推定M8.3以上)」による津波とされている。<sup>じょうがん</sup>貞観地震は、今回の「東日本大震災」の地震が千年周期で発生するとの説から注目されたことでも記憶に新しい。



大海原を望む起伏ある地勢。大きな空と海が放つ光の中に、風雅な歴史と大自然の<sup>いろど</sup>彩りがちりばめられている七ヶ浜。人々がこの地の海辺に暮らしはじめて、幾千もの年月が流れた。

人は、時に不機嫌な大自然の顔と出合い、時には傷つけられることもある。

海と共生し、幾多の困難を乗り越えてきた歴史を、私たちは、これからの郷土を創っていく次代へ語り継いでいかなければならない。

美しい「うみ・ひと・まち」を取り戻し、<sup>なつ</sup>懐かしくも新しい未来のふるさとを、ここに再び築いていくために。



吉田花洲港

## 第一章 地震発生後の記録

# 津波の襲来と町の対応

### 序

「東北地方太平洋沖地震」が発生したのは、平成23年(2011)3月11日午後2時46分だった。

地震の大きさを示すマグニチュード(M)は、3月11日午後5時に8.8と発表されたが、2日後の3月13日に9.0に訂正された。

震源地は、牡鹿半島の東南東約130km付近の北緯38度06.2分、東経142度51.6分の地点であった(気象庁発表)。震源地から七ヶ浜町(役場庁舎・北緯38度18分05秒、東経141度03分46秒)までの距離は、約160kmである。

「主要動」と呼ばれる大きな揺れを引き起こす地震波は、秒速3~4kmで進むという。計算上では、約33秒後には七ヶ浜町に到達したことになる。

この地震は、「初期微動」がほとんどなく、いきなり強烈な「主要動」が襲ってきたような揺れ方だった。

この強い揺れは、東日本全体で約6分間続いた。揺れが長く続いたのは、震源地付近での断層の破壊時間が長く続いたためといわれ、青森県から神奈川県にかけての太平洋側地方では震度4以上の揺れが約2分以上続き、福島県いわき市小名浜では3分以上(190秒間)も揺れ続けた(3月25日気象庁発表)。

気象庁は、地震発生から約1時間半後の午後4時20分、報道発表資料において、この地震を「平成23年(2011)東北地方太平洋沖地震」と命名したことを発表。そして、4月1日、政府は閣議において、震災全体の名称を「東日本大震災」とすることを決定し、同日発表された。これ以降は、報道機関も「東日本大震災」という名称で統一した。なお、津波だけの呼称については、政府や気象庁、県など公的機関は特に名称を定めていない。

本書もまた、地震については「東北地方太平洋沖地震」、震災全体を「東日本大震災」と表記する。津波については「地震による津波」「大津波」などとして、呼称は設定しない。

平成23年3月11日の地震発生と津波襲来、そして避難所での生活が続けられた地震発生後の数週間、住民たちは、どのような日々を過ごしてきたのか。町の災害対策本部が記録し続けた「平成23年東日本大震災に係る応急対策・復旧対策調書(平成23年5月1日18時00分現在)」の記述から、震災後の日々を時系列的に振り返ってみたい。



## 1. 地震の概要(気象庁)

- 発生日時 平成23年3月11日(金) 午後2時46分(日本時間)
- 震央地名 三陸沖
- 震源の深さ 約24km
- 規模 マグニチュード9.0 ※観測史上過去最大
- 震度 七ヶ浜町 震度5強(七ヶ浜町地震観測計5.4)  
最大震度 宮城県栗原市 震度7  
東日本を中心に北海道から九州にかけての広い範囲で震度6弱~1を観測
- 津波情報 平成23年3月11日午後2時49分、気象庁発表
  - 岩手県、宮城県、福島県の沿岸に大津波警報(高いところで6.0m以上の津波)
  - 津波到達予想時刻 石巻市鮎川 11日 午後3時00分 仙台港 11日 午後3時10分
  - 満潮時刻 石巻市鮎川 11日 午後7時54分ごろ 仙台港 11日 午後8時03分ごろ
  - 北海道から九州にかけての太平洋沿岸、小笠原諸島に津波警報、津波注意報
  - ※その後、大津波警報、津波警報、津波注意報の範囲及び津波の高さは随時変更された。



2. 町の対応状況(平成23年3月11日～4月28日)

日付	時間	内容
平成23年 3月11日	午後2時46分	地震発生 三陸沖を震源とするマグニチュード8.8 ※平成23年3月13日に「9.0」に修正 七ヶ浜町 震度5強【七ヶ浜町計測震度 5.4】
	午後2時47分	七ヶ浜町災害対策本部設置(3号非常配備) 情報収集開始(町職員、七ヶ浜消防署、七ヶ浜町消防団、各地区自主防災会)
	午後2時49分	大津波警報発令 ※気象庁発表 津波到達予想時間 石巻鮎川:午後3時、仙台港:午後3時10分 予想される津波の高さ 6m 町内全域にわたりライフライン(水道・都市ガス・電気)停止確認
	午後2時50分	防災行政無線、消防車両にて沿岸部住民に対し避難指示 沿岸部の消防分団に対し水門閉鎖、警戒を指示
	午後3時14分	※気象庁発表 予想される津波の高さが10mに変更
	午後3時25分	沿岸部の水門、防潮門扉等の閉鎖完了 ※地震による破損のため代ヶ崎浜の水門の一部が閉鎖できず。
	午後3時37分	吉田花洲港で引き潮50cm観測
	午後3時50分	潮位の上昇を確認
	午後3時51分	津波第1波を確認
	午後3時55分	花洲浜、吉田浜において2～3mの津波が住宅地帯へ浸入
	午後3時57分	要害地区で1mの津波を観測
	午後4時00分	吉田浜字二月田地内に津波が浸入 菖蒲田浜から阿川沼を通過した津波が向洋中学校周辺の田園地帯にまで浸入
	午後4時03分	代ヶ崎浜の仙台火力発電所方面から代ヶ崎浜字向田、峯地内に津波が浸入
	午後4時05分	菖蒲田浜字新小塚「サンフレッシュ七ヶ浜」付近で、幼児2名が車内にとじこめられているとの情報、救助要請 花洲浜同性寺内に孤立し取り残されている人がいるとの情報

日付	時間	内容
3月11日	午後4時10分	菖蒲田浜字招又地内(五社明神付近)で津波による死者を確認
	午後4時14分	遠山四丁目の県営住宅1階部分まで津波が浸入
	午後4時15分	津波により消防団第1分団(松ヶ浜)消防ポンプ自動車が流され、搭乗していた団員が負傷
	午後4時17分	津波により花洲浜地区の家屋5軒が流失との情報
	午後4時25分	湊浜地区薬師寺付近が冠水との情報
	午後4時33分	塩竈市で「津波第二波を確認」との情報
	午後4時40分	津波により町道七ヶ浜縦断線通行止め
	午後4時50分	花洲浜字長須賀、菖蒲田浜字東原地内が津波により壊滅との情報
	午後5時10分	仙台塩釜港仙台港区内の製油所(以下「製油所」と記載。)方面に黒煙が確認される。
	午後5時15分	災害対策本部会議(第1回) ※地震・津波による被害、避難所開設状況の確認、避難所への町職員配置を指示
	午後5時20分	町内避難所設置完了(全箇所)
	午後5時30分	町職員、町内被害箇所の確認
	午後6時45分	製油所火災発生を確認 ※塩釜地区内の各消防隊が消火活動のため現場へ
	午後7時30分	製油所火災により、製油所周辺の多数企業が町内避難所へ避難を開始する。 製油所火災について、塩釜地区消防本部が鎮火不可能と判断。消火活動をとりやめ自然鎮火での対応を決定
	午後8時00分	災害対策本部会議(第2回)
	午後9時00分	花洲浜字天神堂地内で自宅に取り残された女性を七ヶ浜消防隊と第3分団(花洲浜)が救出
午後11時00分	菖蒲田浜字招又地内(五社明神付近)に約150名が取り残され、付近の住宅に避難、津波により3名が死亡との情報	



松ヶ浜字上納地内(3月12日)



津波被害を受けた第1分団消防ポンプ自動車



製油所火災



日付	時間	内容
3月12日		※陸上自衛隊多賀城駐屯地第22普通科連隊災害派遣部隊が救助活動を開始
	午前1時00分	町職員2名が菖蒲田浜字招又地内に取り残されていた第2分団(菖蒲田浜)と接触し、津波による死者が5名との報告を受ける。救出活動について協議し、午前5時30分から救出活動を開始することを決定
	午前5時37分	菖蒲田浜字招又地内の避難者救出開始
	午前5時45分	救助部隊が菖蒲田浜字招又地内の避難所到着。死者5名と負傷者5名の搬送を開始
	午前5時53分	菖蒲田浜字招又地内での死者8名、行方不明者22名を確認(負傷者数は不明)
	午前6時00分	松ヶ浜小学校避難者に対し、製油所関係者が火災について説明
	午前6時30分	菖蒲田浜字招又地内の避難者をマイクロバスで中央公民館に移送
	午前6時45分	菖蒲田浜字招又地内の負傷者3名を救急搬送
	午前6時56分	菖蒲田浜字招又地内の避難所で11名の死亡を確認
	午前6時58分	津波により花洲浜字長須賀から菖蒲田浜字牛ノ鼻木までの沿岸部壊滅を確認
	午前7時13分	菖蒲田浜字招又地内の負傷者4名を救急搬送
	午前7時43分	菖蒲田浜字招又地内の避難者をマイクロバスで中央公民館に移送(2回目)
	午前7時50分	菖蒲田浜字招又地内の負傷者2名を救急搬送
	午前7時56分	菖蒲田浜字招又地内の避難者をマイクロバスで中央公民館に移送(3回目)
	午後8時00分	災害対策本部会議(第3回)
	午前8時03分	菖蒲田浜字招又地内の避難者2名を救急搬送
	午前8時50分	菖蒲田浜字招又地内の避難者救出を完了
	午前9時15分	第1・2・9・10分団に対し、菖蒲田浜字招又地内の遺体捜索及び収容を指示
	午前9時20分	花洲浜同性寺付近に47名の避難者を確認し、自衛隊ヘリにて救助を開始
	午前9時25分	製油所火災により、製油所内のガスタンクに爆発のおそれが生じたため、製油所から半径2km圏内の湊浜・松ヶ浜・境山・遠山の各地区住民へ避難指示 ※平成24年10月、避難範囲とされた「半径2km圏内」は、「半径200m圏内」の誤りだったことが製油所から町へ報告された。

日付	時間	内容
3月12日	午前11時25分	長野県緊急消防援助隊が七ヶ浜町に到着
	午後0時08分	長野県緊急消防援助隊及び七ヶ浜消防隊が津波被害のあった地域の行方不明者捜索を開始
	午後1時15分	松ヶ浜小学校への避難者数900名と確認
	午後1時55分	七ヶ浜町社会福祉協議会事務所への避難者数84名と確認 七ヶ浜町障害者地域活動支援センター「あさひ園」への避難者数25名と確認
	午後4時00分	花洲浜同性寺付近の避難者、自衛隊ヘリによる救出を完了
	午後4時55分	多賀城市桜木「ソニー仙台」付近に町民30名が待機しているとの連絡
	午後6時45分	町内で収容された遺体15体を宮城県総合運動公園「グランディ21」へ移送
	午後8時20分	大津波警報から津波警報に切り替え(気象庁)
	午後8時30分	災害対策本部会議(第4回)
3月13日	午前6時05分	自衛隊に対し、仙台火力発電所内に留まっている発電所職員20名の救助を要請
	午前6時55分	汐見保育所への避難者数300名と確認
	午前7時30分	津波警報から津波注意報に切り替わり、町内全域を「避難指示」から「避難勧告」に切り替え。災害派遣として宮城県警39名が到着
	午前8時00分	災害対策本部会議(第5回)
	午前9時00分	陸上自衛隊、長野県緊急消防援助隊、宮城県警、七ヶ浜消防署、七ヶ浜町消防団による合同救出活動が開始される
	午後2時20分	陸上自衛隊が第1スポーツ広場で給水活動を開始
	午後4時00分	町役場敷地内及び生涯学習センター敷地内に仮設トイレを設置
	午後5時58分	津波注意報解除(気象庁)、町内全域への避難勧告を解除
	午後8時00分	災害対策本部会議(第6回)
	午後9時03分	関西電力の高圧発電機車が生涯学習センター及び七ヶ浜国際村に、北陸電力の高圧発電機車が松ヶ浜小学校へ配置され、各施設に電力供給を開始



津波襲来後の菖蒲田浜招又地内



電力供給へ向けて作業を進める関西電力の作業員



電力を供給する北陸電力の高圧発電機車

日付	時間	内容
3月14日	午前5時20分	陸上自衛隊142名が生存者の捜索・救出活動を実施
	午前8時00分	災害対策本部会議(第7回)
	午前9時50分	塩釜地区消防本部(警防指揮本部)と長野県緊急消防援助隊が合同で阿川沼の捜索活動開始
	午後8時00分	災害対策本部会議(第8回)※東北電力より、電力一部復旧見込みの報告
	午後9時30分	境山一丁目、遠山三丁目、汐見台一丁目~六丁目、亦楽地区で電気が復旧
3月15日	午前8時00分	災害対策本部会議(第9回)
	午前8時20分	千葉県警派遣部隊97名が七ヶ浜町に到着
	午前11時20分	第4分団(代ヶ崎浜)が不明だった「町民バスぐるりんこ」の車体を発見
	午前11時30分	「町民バスぐるりんこ」車内の捜索のため塩釜地区消防本部水難救助隊に派遣を要請
	午後2時14分	七ヶ浜水難救助隊(塩釜地区消防本部水難救助隊)出動
	午後2時20分	菖蒲田浜地区内七郎治崎付近の流出物から火の手が上がり、宮城海上保安部が現場へ急行
	午後2時30分	製油所火災が鎮火
	午後3時00分	水難救助隊が「町民バスぐるりんこ」車内を捜索
	午後3時20分	製油所火災鎮火に伴い、境山・遠山・松ヶ浜・湊浜の避難指示を解除
	午後8時00分	災害対策本部会議(第10回)



陸上自衛隊による捜索活動

日付	時間	内容
3月16日	午前8時00分	災害対策本部会議(第11回)
	午後8時00分	災害対策本部会議(第12回)
3月17日	午前8時00分	災害対策本部会議(第13回)
	午後8時00分	災害対策本部会議(第14回)
	午後10時00分	宮城海上保安部へ捜索活動の協力を要請
3月18日	午前8時00分	災害対策本部会議(第15回)
	午前9時00分	宮城海上保安部が海岸部捜索開始
	午後0時50分	宮城海上保安部が捜索を打ち切り
	午後7時00分	災害対策本部会議(第16回)
3月19日	午前8時00分	災害対策本部会議(第17回)
	午前9時10分	仙台市消防局・塩釜地区消防本部が製油所火災を調査
	午後7時00分	災害対策本部会議(第18回)
3月20日	午前8時00分	災害対策本部会議(第19回)
	午前10時08分	菖蒲田浜沖合30mの所で船舶火災発生。宮城海上保安部が消火活動。
	午後2時50分	菖蒲田海水浴場の沖合にてコンテナ火災が発生。宮城海上保安部に対し対応を依頼
	午後7時00分	災害対策本部会議(第20回)
3月21日	午前8時00分	災害対策本部会議(第21回)
	午後7時00分	災害対策本部会議(第22回)
3月22日	午前8時00分	災害対策本部会議(第23回)
	午前8時30分	国土交通省作業車が吉田浜字神明地内の浸水区域にて排水作業を開始
	午後7時00分	災害対策本部会議(第24回)
3月23日		トルコ消防レスキュー隊が到着し、七ヶ浜町内における捜索活動を開始(～4月7日)
	午前8時00分	災害対策本部会議(第25回)
	午後7時00分	災害対策本部会議(第26回)
3月24日	午前8時00分	災害対策本部会議(第27回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第28回)

日付	時間	内容
3月25日	午前8時00分	災害対策本部会議(第29回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第30回)
3月26日	午前8時00分	災害対策本部会議(第31回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第32回)
3月27日	午前8時00分	災害対策本部会議(第33回)
	午前8時30分	国土交通省作業車が花洲浜字館下地内の排水作業を開始
	午後6時30分	災害対策本部会議(第34回)
3月28日	午前7時24分	宮城県沖を震源とした M6.5の地震発生(七ヶ浜町 震度3) 宮城県沿岸に津波注意報発令。防災行政無線による広報、各消防団へ広報を指示
	午前8時00分	災害対策本部会議(第35回)
	午前8時00分	町内の各水門の閉鎖完了
	午前9時05分	津波注意報解除(気象庁)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第36回)

日付	時間	内容
3月29日	午前8時00分	災害対策本部会議(第37回)
	午後1時10分	東北地方太平洋沖地震 政府現地対策本部 七ヶ浜町を視察
	午後6時30分	災害対策本部会議(第38回)
3月30日	午前8時00分	災害対策本部会議(第39回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第40回)
3月31日	午前8時00分	災害対策本部会議(第41回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第42回)
4月1日	午前8時00分	災害対策本部会議(第43回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第44回)
4月2日	午前8時00分	災害対策本部会議(第45回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第46回) 遠山、境山、松ヶ浜地区にて試験通水開始



トルコ消防レスキュー隊



政府現地対策本部視察



日付	時間	内容
4月3日	午前8時00分	災害対策本部会議(第47回)
	午後6時30分	災害対策本部会議(第48回) 東宮浜、亦楽、汐見台、汐見台南地区にて試験通水開始
4月4日	午前8時00分	災害対策本部会議(第49回)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第50回) 代ヶ崎浜・吉田浜・東宮浜の一部・要害・花淵浜に試験通水開始
4月5日	午前8時00分	災害対策本部会議(第51回)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第52回)
4月6日	午前8時00分	災害対策本部会議(第53回)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第54回)
4月7日	午前8時00分	災害対策本部会議(第55回)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第56回)
	午後11時32分	宮城県沖を震源とするM7.4の地震が発生(七ヶ浜町 震度5強) 宮城県沿岸に津波警報発令。防災行政無線にて町民に対し避難指示 地震被害により、町内の一部で水道断水
4月8日	午前0時55分	津波警報解除(避難指示解除)
	午前1時45分	災害対策本部会議(第57回)
	午前2時30分	災害対策本部会議(第58回)
	午前8時00分	災害対策本部会議(第59回)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第60回)
4月9日	午前8時00分	災害対策本部会議(第61回)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第62回)
4月10日	午前8時00分	災害対策本部会議(第63回)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第64回)
4月11日	午後6時00分	災害対策本部会議(第65回)

日付	時間	内容
4月12日	午後6時00分	災害対策本部会議(第66回)
	午後10時00分	4月7日に発生した地震で利府町にある送水管修繕のため町内全域断水
4月13日	午後6時00分	災害対策本部会議(第67回)
4月14日	午後6時00分	災害対策本部会議(第68回)
4月15日		松ヶ浜小学校、亦楽小学校避難所が閉鎖される。
	午後6時00分	災害対策本部会議(第69回)
4月16日	午後6時00分	災害対策本部会議(第70回)
4月17日		町内全域で水道復旧
	午後6時00分	災害対策本部会議(第71回)
4月18日		町水道事業所会議室を会場に「被災者支援に関する総合相談窓口」を開設(~5月31日) 応急仮設住宅入居申し込み開始(~4月30日)
	午後6時00分	災害対策本部会議(第72回)



総合相談窓口



日付	時間	内容
4月19日	午後6時00分	災害対策本部会議(第73回)
4月20日	午後6時00分	災害対策本部会議(第74回)
4月21日	午後6時00分	災害対策本部会議(第75回)
4月22日	午後6時00分	災害対策本部会議(第76回)
4月23日	午後6時00分	災害対策本部会議(第77回)
4月24日	午後6時00分	災害対策本部会議(第78回)
4月25日	午後6時00分	災害対策本部会議(第79回)
4月26日	午後6時00分	災害対策本部会議(第80回)
4月27日	午後6時00分 午後7時00分	災害対策本部会議(第81回) 町と陸上自衛隊合同による安否不明者家族への搜索状況説明会を開催
4月28日		東日本大震災から49日目 午後5時15分 陸上自衛隊第22普通科連隊「搜索部隊」の搜索活動を終了 以後、陸上自衛隊は民生支援活動へと切り替え 午後6時00分 災害対策本部会議(第82回)



陸上自衛隊による民生支援活動